

◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

第二回

1、字句〓無縁

2、形式〓半紙タテ使用。中央に「無縁」と臨書し、左余白に落款「〇〇臨」と書き入れる。

3、概観〓「十七帖」は、「十七日先書：」と始まることにより、その書き出しの「十七」を取って「十七帖」と命名された。「十七帖」には帖末に「勅」字の押書がある「館本」系と、唐の賀知章の臨本が元になった「賀監」系があるが、中でも「館本系」の「三井本」と「上野本」がとくに有名です。今回は「三井本」を底本としています。

「三井本」の大きな特徴としては、草書では切り離さない部分を二筆にした「断筆」があります。「上野本」は羅振玉がわが国にもたらし、上野氏有竹齋に入ったので、この名がありますが、現在は「京都国立博物館」に帰しています。「上野本」はゆったりとした運筆、無理のない自然な風趣に特色がある。

4、各字のポイント

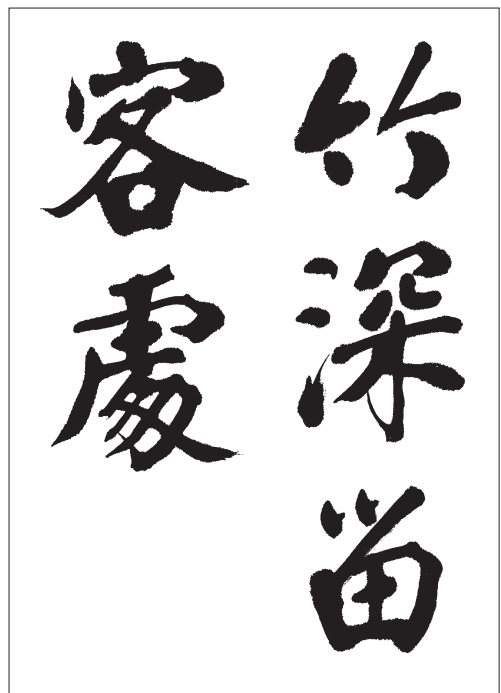
無 一画目起筆で筆を突き、引き上げながら収筆に。二点は軽快に。三画目の起筆はやはり、筆を突き弾力を利用して筆を引き上げ、△で筆の裏面に。○で表面に変えて、以後、線の方向に注意しながら運筆。縁 「無」の終筆を受け、逆筆で入筆し、糸偏を小さめに書き、旁は大きな円動、中に二点を収め、収筆は外へ大きく出す。



十七帖・王羲之

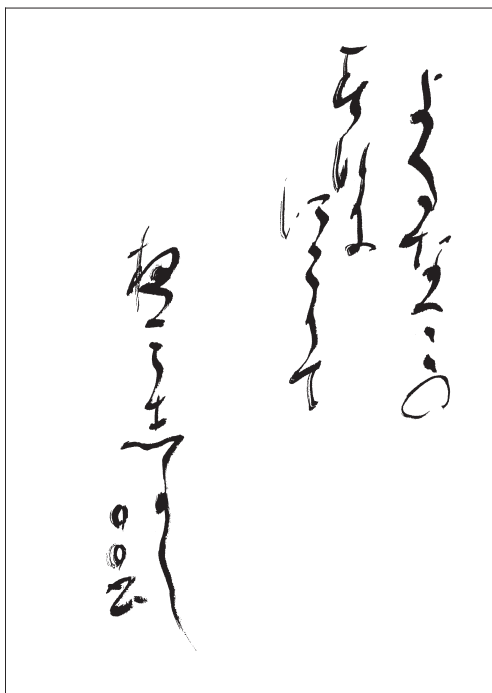
半紙課題(予告) (六月二十二日締切)

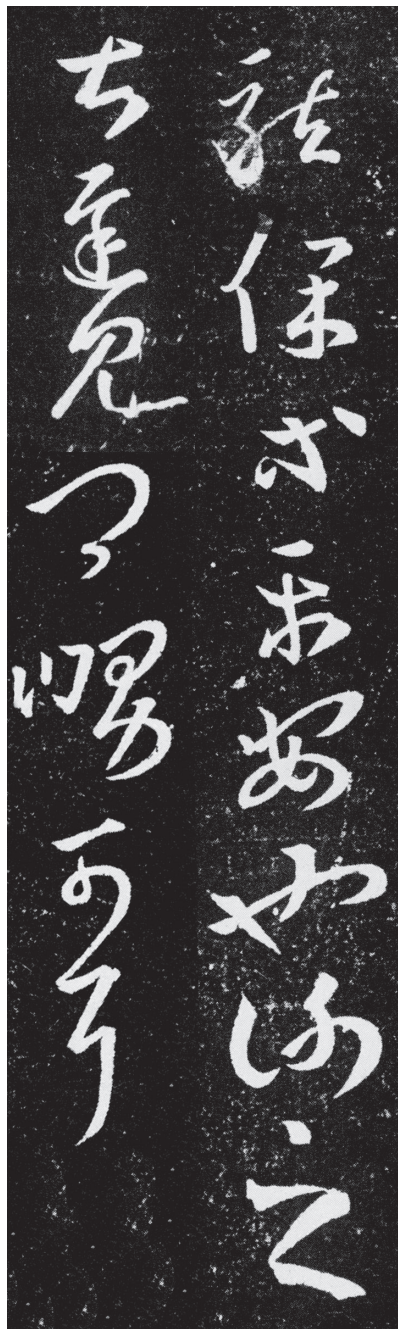
平岡華雪先生書 竹深く客を留むる処(杜甫)



訳：竹林の深いところに客を留め、

平岡華雪先生書 よる波の砂に濁りて夜みじかし(乙二)





（天来書院）

龍保等不安也。謝之。甚遲見卿。舅可耳。
 龍保等は平安なり。之を謝す。甚だ卿に見えんことを遅つ。舅は可なるのみ。
 その節は、孫の龍保等にまでお心にかけていただきありがとうございます。お陰様で皆平穩無事に過ごしております。
 あなたのおいでになるのを今か今かと待っております。舅（母方のおじ）の病気も、快方に向かつております。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。
 随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。
 バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「臨」と表示されます。

一字書（五月二十二日締切）

課題

勝

- (1) 書体自由 (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に一字と記入 段級は無記入

研究部課題

（五月二十二日締切）

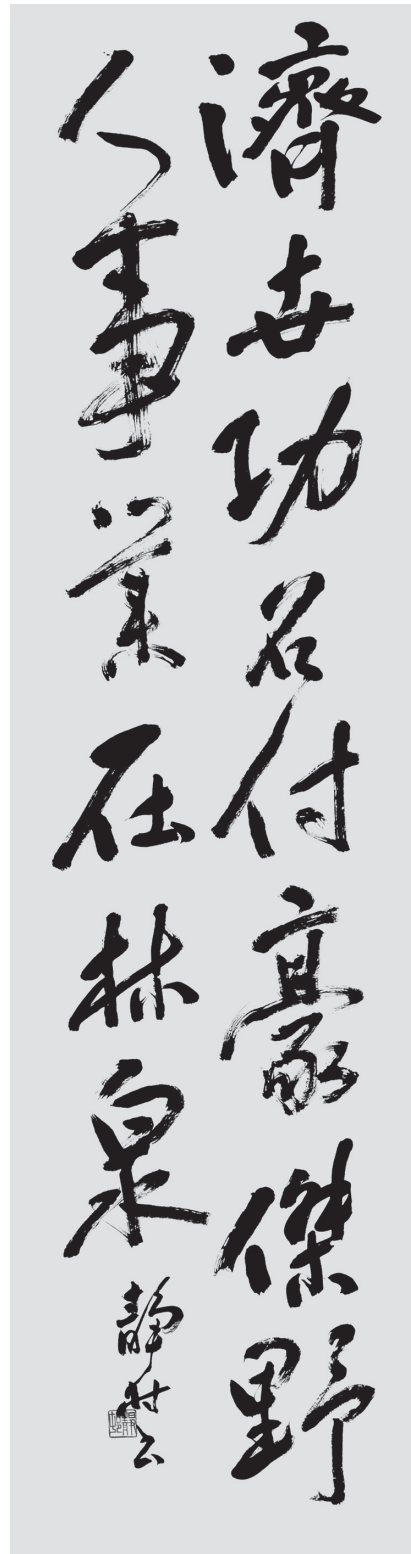
（課題）

城

- ▽注意
 - (1) 半紙タテ・ヨコ自由。(2) 書体自由。
 - (3) 落款は「太岳書」と書き入れること。
 - ▽出品要項
 - (1) 資格―推薦、準推薦、推薦
 - (2) 締切―五月二十二日必着
 - (3) 発表―書建七月号誌上
 - (4) 出品料―九四〇円同封
 - (5) 私製の出品票（タテ10センチ×ヨコ5センチ）を作品の左下にぶら下げて貼付する。
- 格合格者（漢字・随意・かなのいずれかで推薦格以上であればよい。同人、準同人も歓迎）

A 鈴木静村先生書

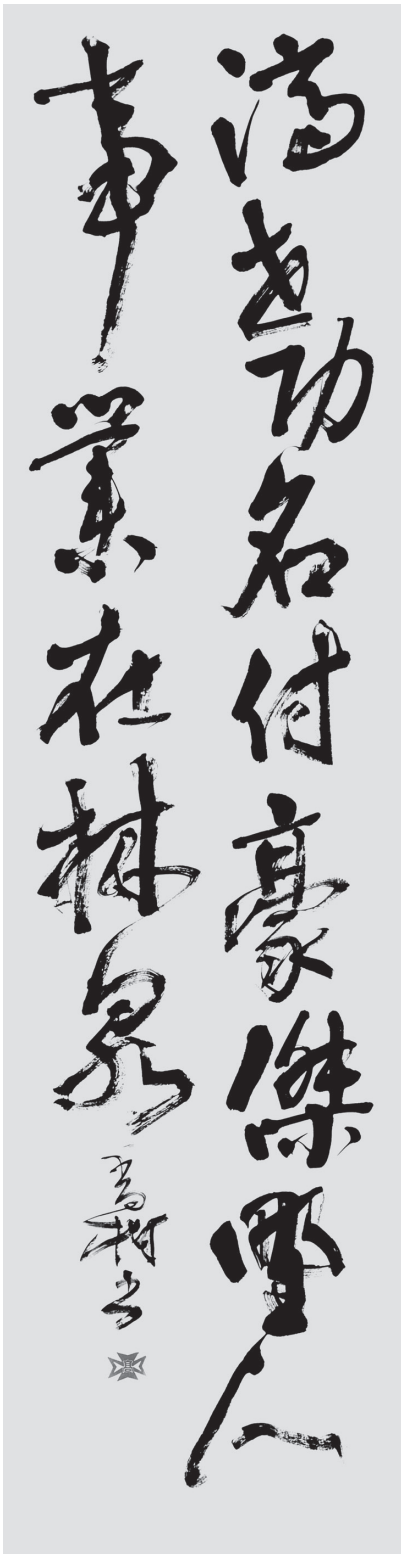
濟世功名付豪傑 野人事業在林泉(戴復古)
濟世の功名は豪傑に付せん、野人の事業は林泉に在り



B

高橋香樹会長書

濟 旁の上部は多様、字典参考に。名付 付の偏に脈絡。豪 一部大きく、下部締めて。野 末画の縦ばねで安定を。人事 事の二画へ脈絡、渴筆を強く豪快に。業 草体、迷いなく運筆。在 一・二画の続けは古典に多い書き方、主 点はなくてもよい。林 やや細め、泉 水の接し方に留意。表現上の効果を狙い、草書体を導入する場合は、筆意を消化し切るまで練習を深めること。



今回の課題は上部に画数の少ない文字、下部に画数が多くまとまるといふことで、苦勞しましたが、一行目を九字、二行目を五字と配字し、一行目は、流れを強調するようにしました。一字で流れをつくるのは難しいので、二字・三字により流れを表出。二行目は、「事」で一行目の流れに対するようにした。墨継ぎは「傑」と「業」。

訳：世を救済するような功名は豪傑の士にゆだねよう。われわれ野人のすることは林泉の間にある。

予告 (六月二十二日締切)

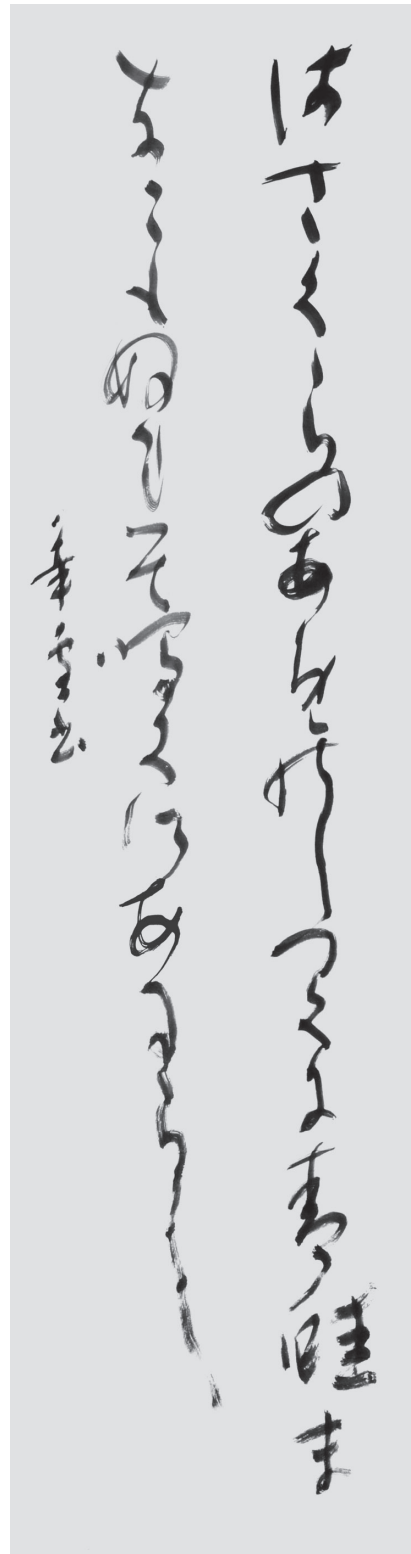
黄河遠上白雲間 一片孤城萬仞山(王之涣)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

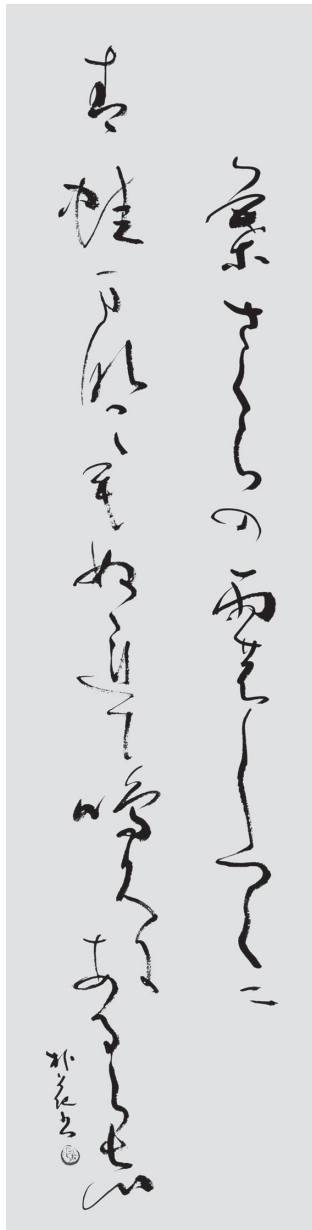
葉ざくらの雨の雫に青蛙まなこも濡れて鳴くにあるらし (太田水穂)
はさくらのあ免能しつ久尔青蛙ま余こもぬ連れて鳴久にあるらし



B

向山朴花先生書

葉ざくらの雨農しつく二青蛙万那こ毛ぬ連れて鳴久尔あるら志



学び方

歌意：葉ざくらの葉先から、雨の滴が滴っている下に、青蛙が濡れて居る。蛙の目も濡れて、まるで鳴いているようだ、との歌意。
光景を思い浮かべながら書いていましたら今回は、あまり苦勞せず筆が運べました。
近代の歌で、原歌に則した漢字を使い、変体仮名使用をなるべく少なくしました。
画数の多い漢字を使う時は、辞典で調べ、仮名作品に合う柔軟な、堅くならない字を選びます。更に一字の中に線の太細、強弱をつけるようにします。又、同じ平仮名が幾つも出てくる時は、変体仮名で変化をつけます。
書いた作品の全体を見直して、紙面の調和がとれているか否かは大切です。その為に、さまざまな文字を組み合わせ、上下左右の配慮から、独自の作品を構成していきたいと思えます。

予告

(六月二十二日締切)

夏の夜はまだよるながらあけぬるを雲のいづこに月やどる覧 (古今和歌集 深養父)

太田水穂 明治期から昭和期の歌人。長野県生まれ。国文学者。歌人。アララギの万葉調、写生主義に対抗して、薰風俳諧を作家の根本とすることを唱えた。
短歌誌『潮音』の主宰者。王朝和歌の伝統を現代に生かした。新古今風、俳諧風、象徴的歌風を示した。『つゆ草』『冬芽』など刊行している。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

小暮 菘華 先生 書

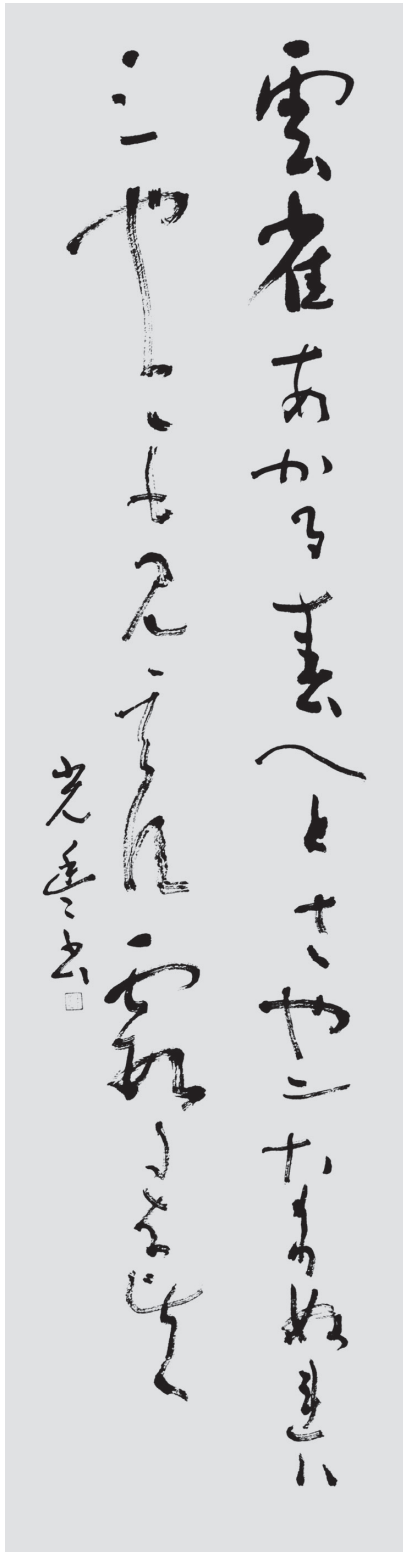
花明仙苑春長畫 景候瑤階日正中 (林佶)
花明かに仙苑春長 昼、景は候う瑤階日正中。



訳：花の紅に咲いた仙苑にはわけても春の暮れること遅く、時刻を知りうる美しい階には正午の日影がさす。

絹 村 光 豊 先生 書

雲雀あがる春べとさやになりぬれば都も見えず霞たなびく (万葉集 大伴家持)
雲雀あがる春へとさや二な利ぬ連ハ三やこも見え須霞多奈比く



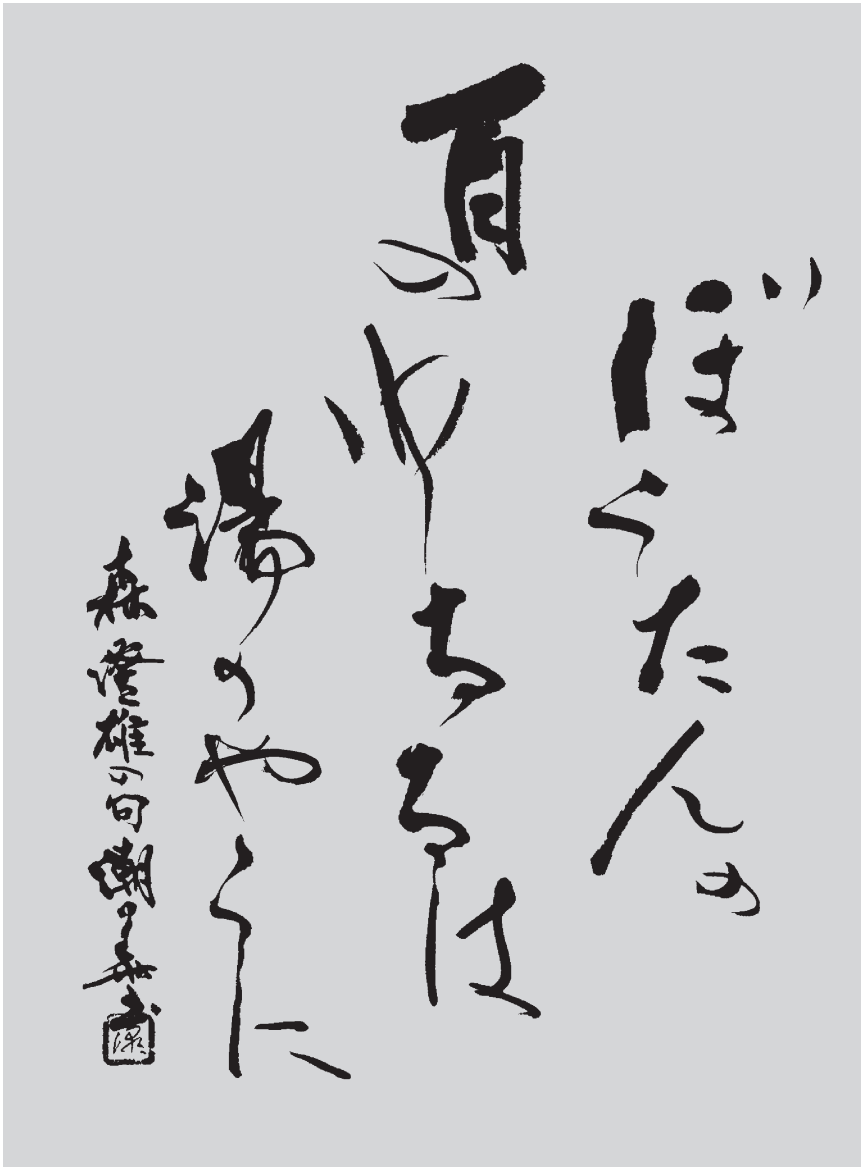
- ◆ 注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み (1) と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み () に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

水貝潮華先生書

ぼうたんの百のゆるるは

湯のやうに

森澄雄



今月の課題は、白牡丹が、風でいっせいにこまかに身をゆるする有様を、湯のようだと直覚的に感じとった句です。この句はかな部分が多いので、紙面の余白に明るさがある反面、散漫になりやすいので、漢字には墨量を多く入れ、「百の」と「ゆるるは」一行ではなく、行をずらして表現することにより、「密」の部分を作りました。また、句の情感から、揺れ動き、そして、字間を空けながら、ゆったりと配字しています。

森澄雄（一九一九～二〇一〇）

大正八年兵庫県生まれの俳人。加藤楸邨の「寒雷」に投句、後に編集長。俳句において「虚」に遊ぶ心の重要性を説き注目される。一九四四年ボルネオに出征、帰還後長崎で戦病を養う。その後上京し、高校教師となる。「杉」創刊・主宰。句集に『雪樸』『花眼』『鯉素』ほか。

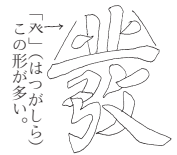
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

発憤して食を忘る。(論語)

訳：やむにやまれぬ求道心をおこして食事も忘れて熱中する。

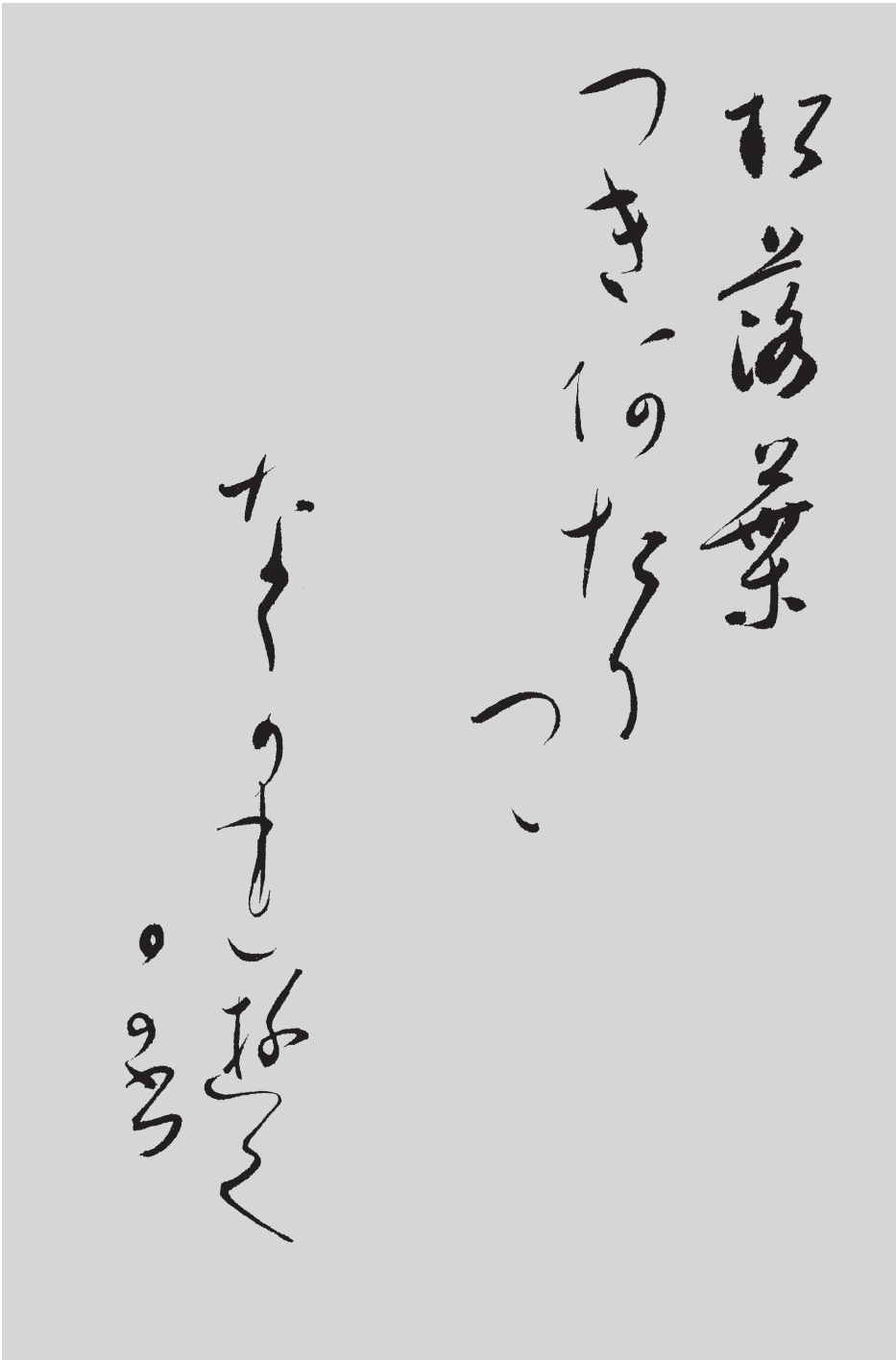


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

松落葉つきあたりつつ流れゆく(千止)
松落葉つき阿たりつゝな可連遊久



〈手本に即し運筆してみて〉

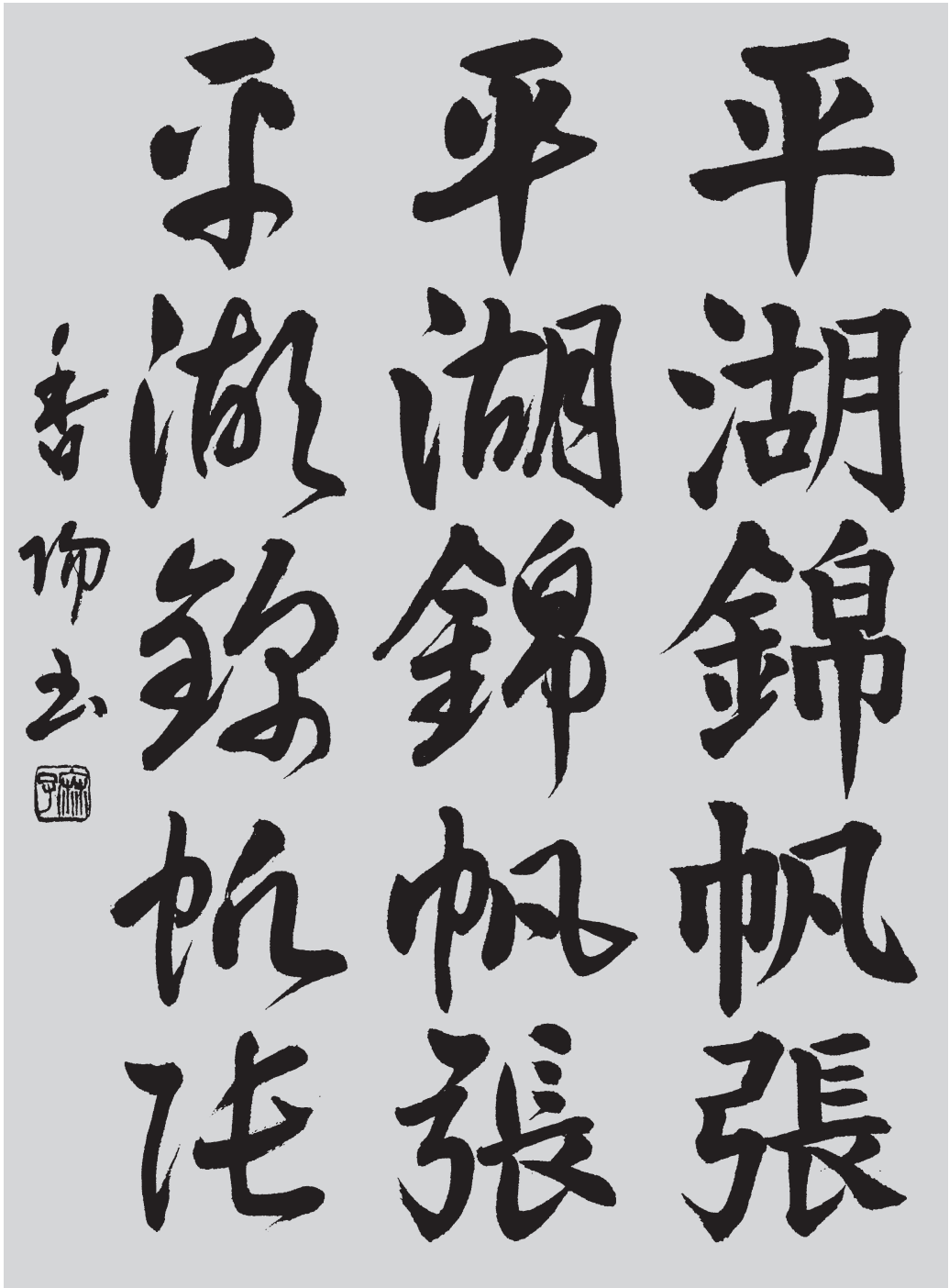
漢字は書出しの「松落葉」だけ、硬くなく行草調で。「つき阿」は、放ち書き、しかし、意連が大切。「つき」↓「阿」の手法。「つゝ」が改まって別ものにならないように、「つゝ」は軽くして上に抜く。左群「な可連」の連綿は円滑に美しく、「遊久」、大きくとも鎮めて収めたい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

福田香陽先生書

平湖錦帆張(陰鏗)
平湖錦帆張る。



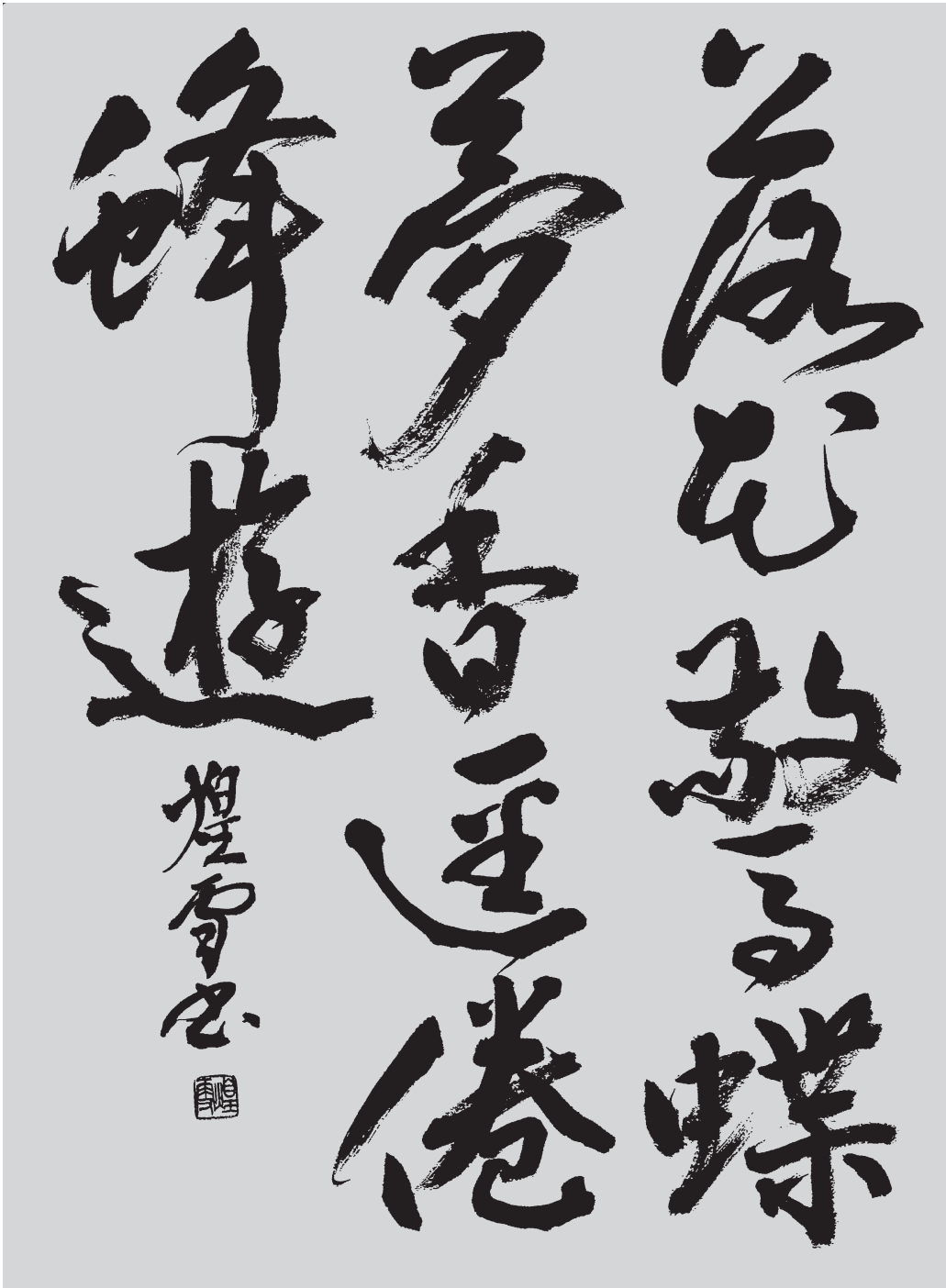
訳：その静かな湖上を、わが船は帆にいっぱい風の力をはらませて走る。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

随 意 部 参 考

星野焯雪先生書

落花驚蝶夢 香逕倦蜂遊（陶璉）
らくかちようむおじろ
落花蝶夢驚き、香逕蜂遊倦む。



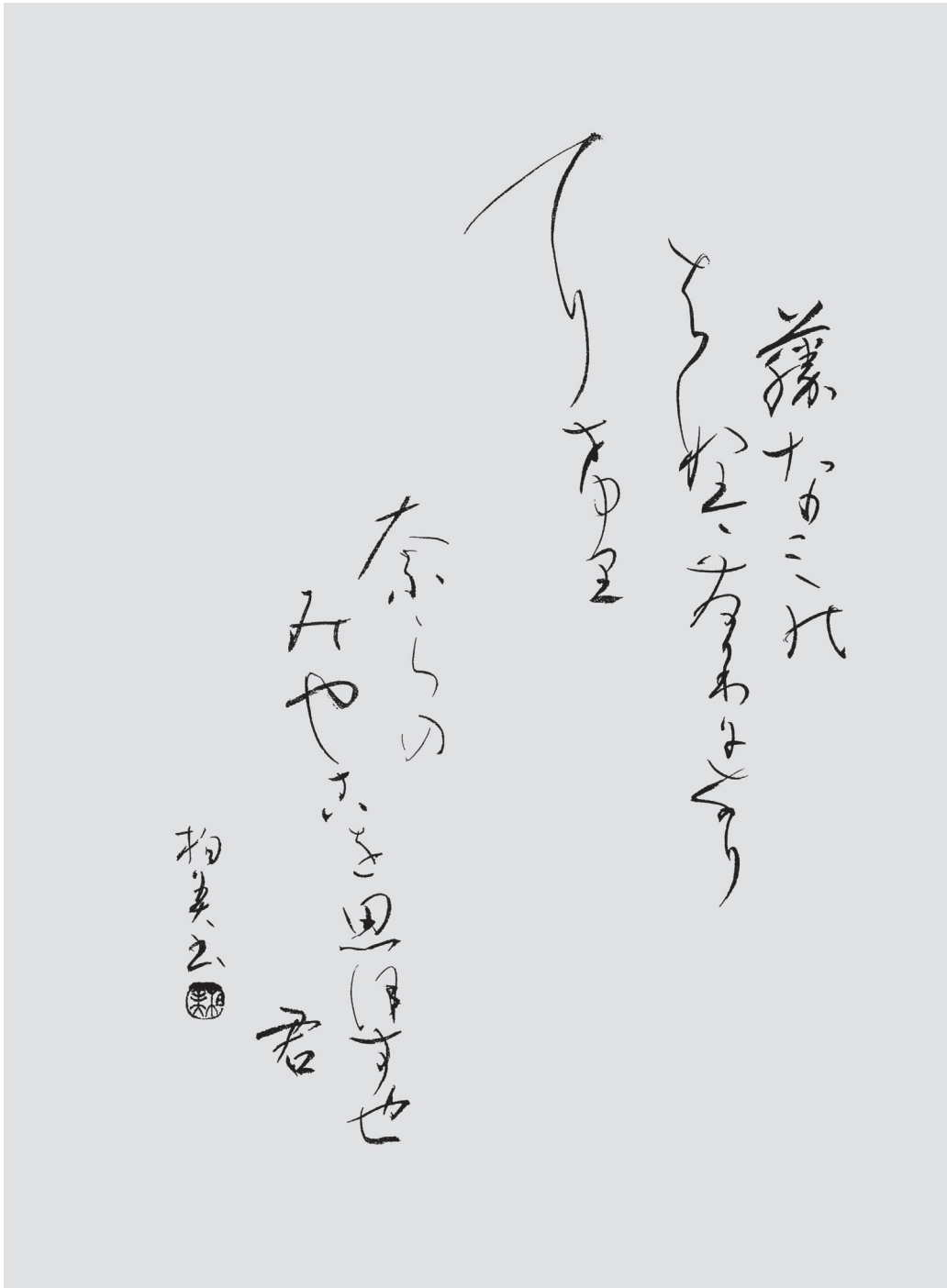
訳：飛散する花は蝶の夢をさまさしめ、花気のおうこみちには遊び飽いた蜂がいる。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

石
島
柏
美
先
生
書

藤なみの花はさかりになりけり平城の京を思ほすや君（万葉集 大伴四綱）
藤な三能者那盤散可利尔奈り耳希里奈らのみや古を思保す也君



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

赤木典子先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

正教授 創作部門(自運作品、自由形式) 出品。

空は今日も素晴らしく澄み渡り、
 岳は美しく輝いている。快い微風が
 頬をかすめ、暖かい春の一日である。

百済観音は朝鮮を経て日本に
 渡来した様式の著しい一例である。
 源は六朝時代の中国であって、さらに
 溯れば西域よりガンダーラに達する。

課題1 (初段階以上)

百済観音は朝鮮を経て日本に渡来した様式の著しい一例である。源は六朝時代の中国であって、さらに溯れば西域よりガンダーラに達する。
 『古寺巡礼』和辻哲郎

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 受験料は一、〇二〇円
- (6) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。)

課題1 九九〇円
 課題2 五五〇円

課題2 (初段階以下)

空は今日も素晴らしく澄み渡り、岳は美しく輝いている。快い微風が頬をかすめ、暖かい春の一日である。
 『春の遠山入り』松濤明